



表彰の報告をした本田繭巳先生(左から2番目)

文部科学大臣から表彰状

1月17日、御船小学校(大脇為久校長・339人)事務主任の本田繭巳先生が、学校運営の改善の実践分野で業務改善への功績が評価され、文部科学大臣から表彰状が授与されました。教職員の事務作業を協働し、効率化を図ることで負担を減らし、教職員が子どもたちと向き合う時間を増やすことにつなげました。受賞した本田先生は「業務改善を通して、学校と地域が一緒になれば」と笑顔で話しました。

小坂小学校の健康教育に表彰

1月17日、小坂小学校(山本定校長・221人)が全国健康づくり推進学校の取り組みで、県教育委員会から優秀校に選ばれました。小坂小では、嶋津貴子養護教諭を中心に、子どもたちの地震後の心の健康に重点を置いて、健康教育を行いました。東日本大震災で経験した宮城県先生の「心のケア」の授業も取り入れられました。嶋津養護教諭は「子どもたちだけではなく、先生たちの心のケアも行っていきたい。子どもたちの心も体も強くなり、早く日常に戻ればよいと思う」と力強く話しました。



表彰の報告をした嶋津貴子養護教諭(左から2番目)

熊本農業高校が水前寺菜の栽培方法を学ぶに

1月17日、熊本農業高校の園芸果樹科野菜担当の3年生(14人)が水前寺菜の育て方を学びに町を訪れました。生徒たちは、ハウスで通年栽培をしている山下啓四郎さん(御船)のビニールハウスで水前寺菜の里づくりの会(徳永廣敏会長たち)から栽培方法を学び、その仕組みを見て驚いていました。家入幹久さん(3年)は「水前寺菜は伝統があり、健康野菜と改めて知った。農家の方に本格的な水前寺菜の栽培方法を聞けてよかった。学校でも実践したい」と話しました。



1



2



3



4

1,2_徳永会長たちの説明を熱心に聞き、水前寺菜を学ぶ熊農生
3_水前寺菜のからし酢味噌和えや柿入りの蒸しパンを頬張る様子
4_生の水前寺菜をパクリ!



ふたを開けたら、懐かしいものでいっぱい!

ぼうさい甲子園で「はばタン賞」受賞

1月7日、優れた防災教育の取り組みを顕彰する「ぼうさい甲子園」が神戸市の兵庫県公館で開催され、滝尾小学校(上田晃生校長・63人)がはばタン賞を受賞しました。この賞は、防災学習に力を入れ、大学の先生から地震が起こる仕組みなどを学んだり、定期的な避難訓練の実施、仮設住宅との交流などの取り組みが評価されたもの。上田校長は「町の代表としていただいた賞で励みになる。来年は、地域の観光名所も取り入れた防災マップをつくりたい」と話しました。



1

1_神戸市で表彰された上田校長
2_仮設住宅と交流し、ひまわりを植えました。



2

若葉・上野保育園でどんどや

1月11日、若葉保育園(本田恵美子園長・149人)で雪が降る中、どんどやを行いました。どんどやの前には、大きな声を出しながら、もぐら打ちをしました。書初めをどんどやの炎の勢いにのせて、空高く飛ばす「旗章上げ」も行いました。17日、上野保育園(上村いつ子園長・47人)でも、地域と交流しながらどんどやをしました。園児たちは、書いた絵をどんどやで燃やし、「絵が上手になりますように」と祈りを込めました。竹が炎で「ポン!ポン!!」と弾け、驚きましたが、どんどやで焼いたお餅は、砂糖じょうゆでおいしく食べました。



2

1



3

1_みんなでもぐらたたき(若葉)
2_竹にもちをはさみ焼く様子(若葉)
3,6_おいしいもち、いただきます!(上野)
4_雪で寒中、「ハイピース!」
5_どんどやの前で「エイ!エイ!オー!」(上野)



4



5

6